

経営比較分析表（令和4年度決算）

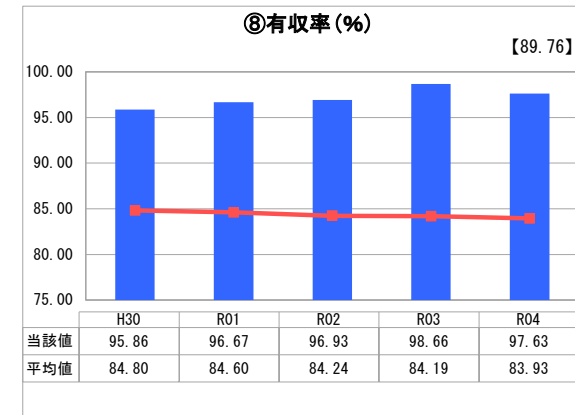
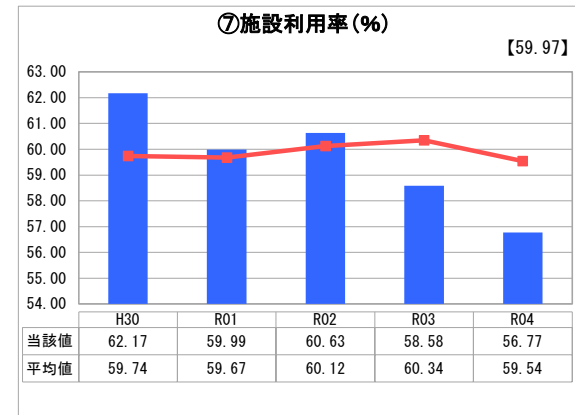
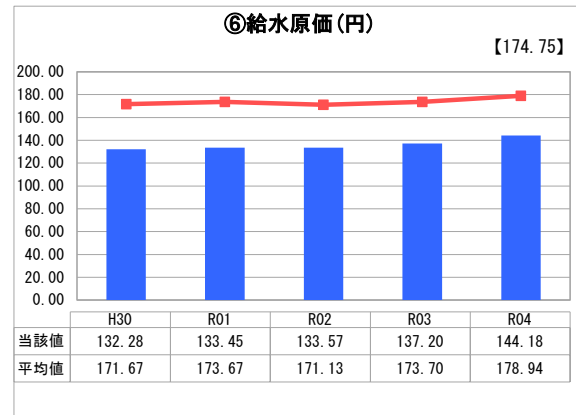
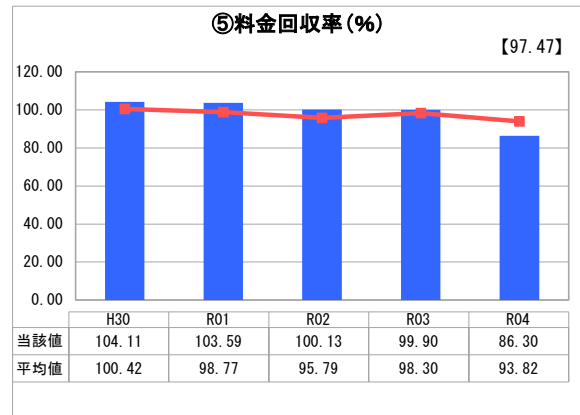
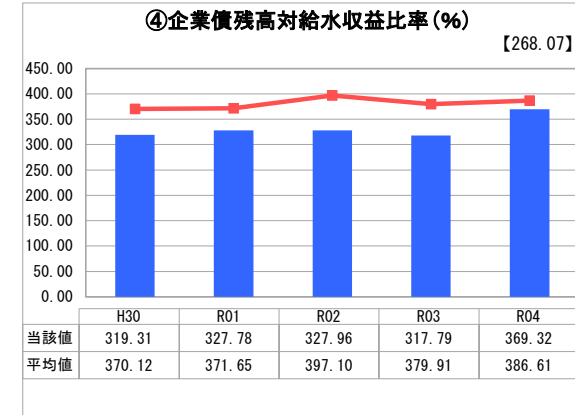
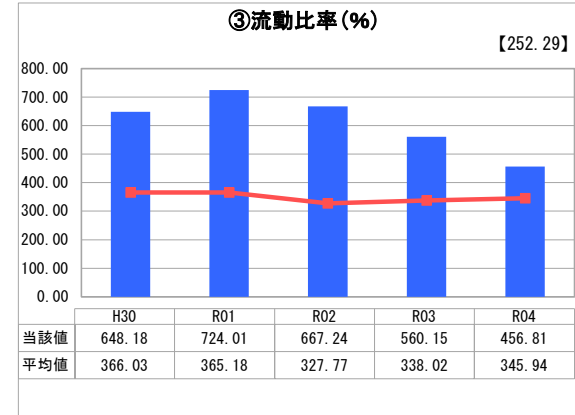
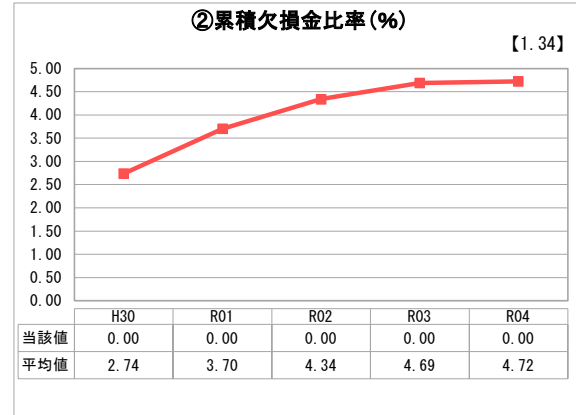
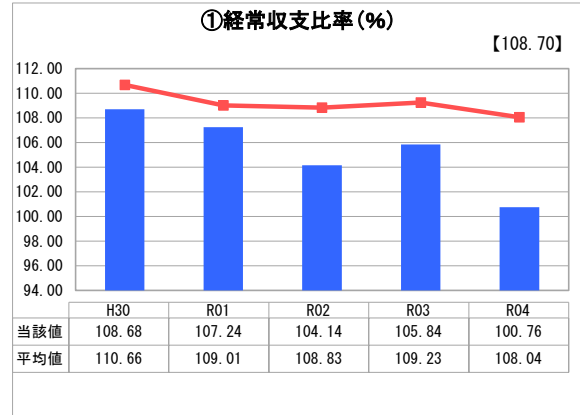
埼玉県 三芳町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.17	99.61	2,172	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,738	15.33	2,461.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
37,507	15.30	2,451.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

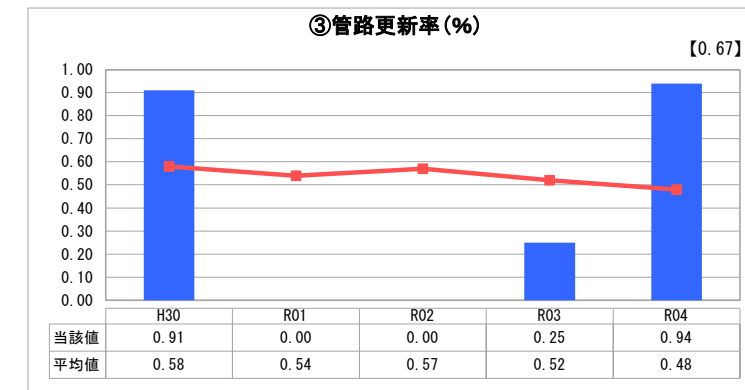
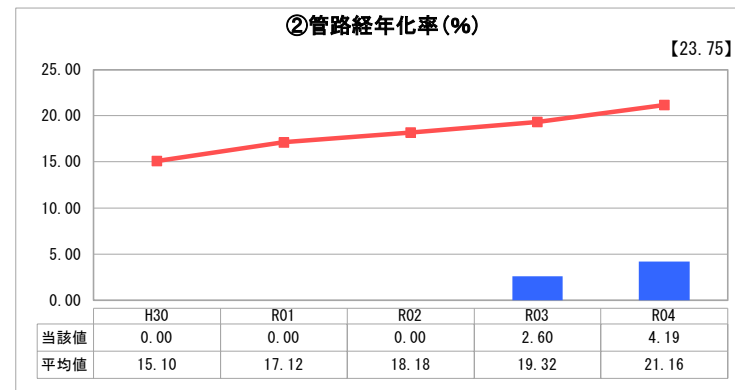
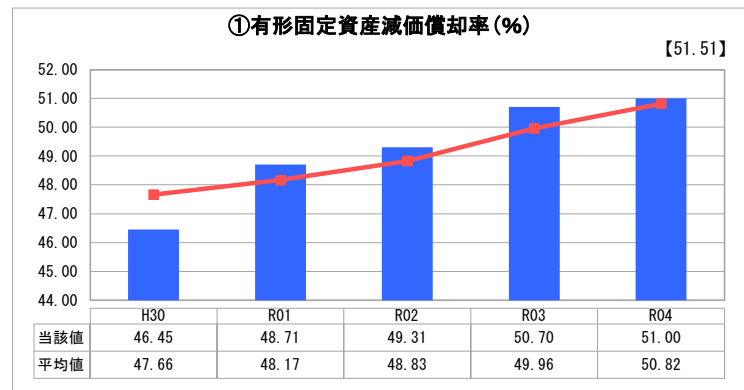
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、100%を超えており健全な経営状況といえる。しかしながら今年度行なった水道基本料金の減免の影響で給水収益が減少したため前年度の値より減少している。
 ② 累積欠損金比率は0%で累積欠損金は発生しておらず、健全経営を維持している。
 ③ 流動比率は類似団体の平均値以上有していることから短期債務に対し十分な支払能力は確保されており財務状況は良好である。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は前年度より増加しているが、今年度の水道基本料金減免により給水収益が減少となったためである。
 ⑤ 料金回収率は100%を下回っている。今年度の水道基本料金減免を行ったことにより供給単価が低くなったため、給水収益以外から、給水に係る費用が賄われていることを示している。
 ⑥ 給水原価は類似団体の平均値を下回っており、効率的な経営ができてきているが、維持管理費の増加により上昇傾向にある。
 ⑦ 施設利用率は、配水量の減少に伴い類似団体の平均値を下回り減少傾向にあるため、施設のダウンサイジングを図り、水道施設の規模適正化を検討する必要がある。
 ⑧ 有収率は類似団体の平均値を7.87ポイント上回っており、水道施設が適正に維持管理できている。今後も引き続き漏水調査など有収率の改善に努めていく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体の平均とほぼ同じである。
 ② 管路経年化率は類似団体の平均を下回っており老朽化の度合いは低いといえる。
 ③ 管路更新率については、前年度繰越した工事により、今年度の更新率は前年度より増加している。今後、法定耐用年数を超える管路が増加することから、事業費の平準化を図り計画的に更新を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性及び老朽化の状況についての指標は類似団体と比較しても、概ね良好な状態にある。しかし、社会的な節水意識の高まりや人口減少の進展に伴い水需要は減少傾向にあることから、今後も給水収益は減少することが見込まれる。また、材料費等の物価高騰を受け、工事費や維持管理費等の経費については増加が見込まれる。そのため、引き続き維持管理コストや建設コストの縮減につとめ、適正な料金収入のあり方を検討し、健全で持続的な経営の維持に努めていく。